



北区の花 菜の花

きた

2022
2 月号

今も残る 北区のむか〜し むかし

北区に残された伝承、伝説を「今も残る北区のむか〜しむかし」として紹介しています。興味をお持ちになったら、由来する場所を調べ、訪ねてみると新たな出会いがあるかもしれません。

ほうそう 疱瘡の神様いそのかみ(石上神社・東大成町)

大宮市教育委員会編「大宮をあるく I～東部編～」(昭和63年)
11・12ページ、「ホウソウの神様」から引用

東大成保育園の西側に石上神社が祀られています。昔からホウソウの神様として霊験があり、今も信仰が続いています。今日のように医学の発達していなかった時代にはホウソウの伝染は恐れられ、村人は他村でホウソウが発生すると村内へ伝染しないよう、また伝染しても軽くすむようとホウソウ神を祀りました。当地では現在も4月5日に氷川神社の神主さんにお祓いを受けて無病であることを祈り紅白の饅頭を配ります。昭和30年代前半までは、信仰する家々から糯米もちこめと小豆を持ちより小豆入りの餅をつき、子供達に食べ



させてホウソウにかからぬように、かかると軽くすむようにと願ったといひます。戦前は特に盛んな祭礼で、露店がでるほどの賑わいだったそうです。



4月の祭礼の様子と赤い幣束 写真提供:東大成町2丁目自治会



疱瘡(天然痘)を恐れた行事や伝承は、各地に伝えられています。「疱瘡神は赤色を嫌う」、あるいは「疱瘡よけになる」など赤色にまつわる言い伝えがとりわけ多く残されています。石上神社の管理をされている方のお話では、現代のように医療が発達していない中、疱瘡神を祀ることで子どもを疫病から守ろうとしていたのではないかとのことでした。

石上神社では、赤い幣束を祀った4月の祭礼は続いており、子どもの健康を祈る思いは昔も今も変わらないのかもしれません。

問合せ 北区コミュニティ課 ☎669・6020 FAX669・6161

「市報さいたま」北区版2月号に掲載した事業については、新型コロナウイルスの影響により、中止や内容を変更する場合があります。詳しくは、市ホームページをご覧ください。各事業の問合せ先へお尋ねください。

北区役所 〒331-8586 北区宮原町1-852-1 ☎653・1111(代表) FAX669・6160 編集:北区コミュニティ課

※この電話は、さいたまコールセンターにつながります。

●人口/149,530人(男/74,252人 女/75,278人) ●世帯数/70,597世帯 ●面積/16.86km²(令和4年1月1日現在)